

子どもたちが大人になった時に必要なアイテムをふやし、将来自信をもって社会に溶け込めるよう支援しています。

## 1日のスケジュール

《平日》	《休日》	集団活動の一例
来所	来所	『からだをうごかそう』
手洗い・うがい・検温	手洗い・うがい・検温	ルールのあるゲームや簡単な運動を通して身体を動かします
個別療育（学習や課題）	個別療育（学習や課題）	『おんがくにふれよう』
おやつ	遊び	様々な楽器に触れたり合奏したりして、音を楽しんでいます
集団療育（遊びや集団活動）	昼食	『つくってみよう』
帰りの会	おでかけやおやつ作り	様々な素材を使って表現豊かな製作を楽しんでいます
あいさつ	帰りの会	『てづくりおやつ』
	あいさつ	旬の食材に触れたり自分で作ったりして、手作りを味わいます



## 本人支援の5領域

### 健康・生活

構造化したスケジュールで、時間や空間を分かりやすく提示しています。

『てづくりおやつ』や『てづくりごはん』の活動を通して、作る楽しさや味わう喜びを共有しています。



### 認知・行動

個別療育、集団療育を通して、形、色、音に触れ、空間・時間、数の概念形成の習得等を図っています。

それらを適切な認知や行動の手がかりとして活用することで、コミュニケーションの困難性から生ずる行動障害の予防、及び適切行動への対応につなげています。



### 運動・感覚

個々に合わせた課題を提供することで視覚、聴覚、触覚等の感覚を十分に活用します。集団活動やボールを使った遊び等を通して全身を動かすことで、感覚の偏りに対する環境調整等を行っています。



### 人間関係・社会性

集団活動等を通して対人関係の芽生えを支援し、社会性の発達を促進しています。また、集団活動前には説明を聞いて手順やルールを理解し、遊びや集団活動に参加できるように支援しています。



### 言語・コミュニケーション

個々の発達段階に合わせて、カード(写真・イラスト・文字)、指差し、ジェスチャー、言語等多様な方法でコミュニケーション能力の向上のための支援を行っています。

